

目次

1面

二〇二一年春 HOWSからの呼びかけ
コロナ下で自粛・萎縮せず、知性を鍛え、闘い抜こう！

逢坂秀人

2面

抗議行動休止でも工事は続行
南部の土砂使用——問題の出発点を直視せよ

枝川敏夫（沖縄県在住）

「人新世の感染症」と向き合う新型コロナ対策
日本では政策的な医療削減のなかでコロナが蔓延

五島真理為（医療カウンセラー）

3面

エッセイ
在日コリアン学生に学びの権利を

朴京子（公益財団法人在日朝鮮学生支援会代表理事）

「トリチウム汚染水」の海洋放出決定に抗議する
国は福島に犠牲を強いるな！

角田政志（福島県平和フォーラム共同代表）

声明

トリチウム汚染水の海洋放出反対！
政府決定に抗議し中止を求める
脱原発福島県民会議共同代表＝角田政志（福島県平和フォーラム共同代表）／狩野光昭（社
民党福島県連合代表）／猪狩守（プルサーマル反対双葉地方住民会議）

催物案内

4面

3・23労働者・市民集会での報告から
医療崩壊は独占資本の医療政策によるもの

山田厚（全国労働安全衛生研究会代表・甲府市議会議員）

川柳

林健

5面

パンデミック・インターナショナル

訳＝安里ミゲル

非人道的な東京オリ・パラ開催の中止を！
全体主義的な体制づくりが開催の狙い

谷口源太郎（スポーツジャーナリスト）

トピック・TOPIC

韓国サンケン労働者の解雇を撤回しろ 4・13集会開催

田沼久男

「韓国サンケン労組を支援する大阪市民の会」結成総会開催

横道昭子

6面

私鉄総連・東武バスの21春闘

「賃金分配論」批判、実態からの要求を

小熊宏樹（私鉄労働者バス運転士）

労働者通信

若者の運動の今、再生に向けて

一橋大でもコロナ「自粛」で諸活動が制限

自由なきキャンパスから再生を目指せ

石附鈴之介（一橋大学大学院言語社会研究科博士後期課程）

ざわついた空気が漂った進級判定会議

職場はそこで働く者のものである

藤原 晃（学校労働者）

前照灯

花はさいたが

7面

福岡県・糸島で陸自が地雷敷設訓練

中止求めて申し入れ行動と集会

木田悦英（「福岡から止めよう！沖縄新基地建設」実行委員会）

狭山裁判闘争は続いている

石川さんの訴えにこたえ再審開始を勝ち取ろう

中村美彦

〇九年「君が代」判決最高裁確定勝利集会

日本兵を父に持つわたしは事実を教える

村上理恵子

8面

国際時評

英国「解雇と再雇用」に抗し闘う

ガス労働者が四二日間の波状ストを実施

沖江和博

国際短信 世界のいま

〈イタリヤ〉アマゾン子会社、全土で二四時間スト

編集部

『思想運動』2月1日号・3月1日号を読んで

合評会が出された意見から

9面

書評『キューバ わが愛 私が見たキューバの素顔』（兼城淳子著）

「シンパシー」あふれる写真集

越川芳明（明治大学教授）

10面

ドーミエとパリ・コミュニケーション

その間もかれはパリに留まり続けた

松岡慶一

11面

メーデーにちなんで

わたしの薦める労働映画この三作

『ノマドランド』（クロエ・ジャオ監督）／『アリ地獄天国』（土屋トカチ監督）／『家族を想うとき』（ケン・ローチ監督）

清水雅彦（日本体育大学教授・憲法学）

『男の闘い』（マーティン・リット監督）／『怒りの葡萄』（ジョン・フォード監督）／『わが青春のフロレンス』（マウロ・ボロニーニ監督）

立野正裕（元大学教員）

『映画批評家の冒険』（木下昌明監督）／『生きる』（黒澤明監督）／『東京干潟』（村上浩康監督）

土屋トカチ（映画監督）

『プラス！』（マーク・ハーマン監督）／『ペレ』（ビレ・アウグスト監督）／『炭鉱』（G・W・パプスト監督）

井野茂雄（文化活動家）

12面

紙つぶて

『国際主義』の李論文を読んで

木田誠也（大阪在住）

横浜のカジノ問題での教訓から

竹岡健治（横浜市在住）

頂門一針

ハンセン病問題と植民地責任

大衆文化時評

「鬼滅の刃」から読み取るコロナ禍での文化状況
根底に被害者意識に基づく反動的世界観

金山明子

新刊紹介

『清水澄子 愛と闘いの生涯』（朴日粉著）朝鮮大学校・朝鮮問題研究センター発行

布施由女

編集部発